

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	ボイストレーニング4	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	ヴォーカリストコース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	桜田ヒロキ	実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン		
学習目的					
1年の時に習得したハリウッド式ボイストレーニング（Speech Level Singingで使われる発声理論）を用いて音域の拡大・音色の改善・声量の増強を行い、更にそのスキルを深めていく。また実際のライブなどで、呼吸法などを活かして歌唱できるよう実践に取り入れる。					
到達目標					
声の発せられるメカニズムの理解・自分の行うべき改善目標の具体化・具体化された目標を実際に到達させるためのトレーニングの日常化・隔週で個別に声の状態を確認し、常に的確なエクササイズの割り当てを目指す					
教育方法等					
授業概要	ハリウッド式ボイストレーニングで個人レッスンを中心に行っていく。毎週生徒を学籍番号順に当て、公開レッスン方式で行っていく。				
注意点	個人差が大きいので、ヒアリングをしっかり行っただうえでレッスンを進めていく。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・演技)	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画 (1回～15回)					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	ヒアリング	学生を数名選抜し、悩みなどをヒアリングした後、その解決法を考える			
2回	母音についての理解	母音の重要性について考える			
3回	母音に意識を持つ	実際の曲中で母音について考え、また意識しながら歌う			
4回	母音、および子音についての理解	曲中での母音と子音の意識の持ち方の違い			
5回	スケールを理解する	ボイストレーニングにおける音階練習			
6回	F、B♭のスケールの理解	音階練習(♭2つまで)			
7回	E♭、A♭のスケールの理解	音階練習(♭4つまで)			
8回	5つのスケールを振り返る	♭4つまでのスケール5つの発声音階練習			
9回	ガイダンス	エクササイズの割り当て			
10回	音程の理解をさせる	トレーニングにおける音程音階を理解した上で適切な練習曲の選び方を理解する			
11回	正しい発声での音階	任意の曲を正しい発声で歌う			
12回	任意の曲での確認	音程をしっかり理解した上で、正しい音程をとる練習			
13回	公開レッスン	セミナー方式での選抜メンバー公開レッスン			
14回	エクササイズの確認	semi-occludedエクササイズの音声学的な解説(リップバブル・ストローエクササイズなど)			
15回	まとめ	トレーニング・メニュー(別紙参照)、エクササイズの割り当て			